

日時：H26.11.19 PM7:00～8:45 於小出市庁舎302

出席者：清水・三友・小林・大林・桜井（戸田氏と交代）・橘の諸士

1. 議 題

- 1-1. 11/5日開催 役員会報告
- 1-2. 新し取組み課題の検討
- 1-3. その他

2. 主たる報告及び意見

2-1. 役員化報告

- ① まちづくり市民会議では、まちづくり委員会としての発言は出来ないことの確認がされた。
- ② まちづくり委員の、まちづく市民会議での発言は、個人として発言することはやぶさかではに！
- ③ まちづくり委員会員の大半は、まちづく未来会議ではファシリテーターとして、中立性が要求され、常に自分の意見を主張しないスタンスで対応してきた。市民会議に出席する未来会議のメンバーにまちづくり委員会委員（ファシリテーター）は二面性を持つ、信頼を失うことにも想定されるが、如何なものか？ --- 清水から質問
- ④ 以下のことに十分注意した発言に止めて欲しい！・発言の前後に、こんな見方も出来るのではないか？・他所では、こんな対応をしていると聞いている！ 等々の第三者の意見であるように発言する。
※ 自分の意見として強調・強行しない。 --- 企画政策室長

2-2. 新しい取組み課題の検討

- ① 政府の「地方創生」策の視点で、如何に地域色を活かした「第二次魚沼市総合計画」が策定できるかが、魚沼市にとって最大のポイントは、地方自治体で財政を確保する！ 自主財源の拡大に掛かっている。「第一次魚沼市総合計画」では、その点がプアーであり、現在でも少ない財源をメリハリ付けた予算作りをすと言っている大平市長。「第二次総合計画」では「創る財政・産む財源」の実現のため、前回会議で皆さんに提案した「魚沼市創生の5本の柱」を、「まちづくり未来会議」での取り扱いが、まちづくり委員会としての発言ができなくなったことを受け、今後は、清水個人として、関係団体に働きかけをすることとした。 --- 清水
- ② 魚沼市の将来を考えるに「魚沼市創生の5本柱」または、それに準ずる施策は不可欠と考える。私としてもその実現に向けて応援したい！ --- 大林
- ③ 別紙、まちづくり委員会1回合同会議（11/7）ワールドカフェから見えてきたこと。 --- 以下清水
 - 1) まち委の募集の結果、応募者0 --- ◆まちづくり委員会の活動をおもしろ・おかしく・楽しく和気あいあいを前提に考えている人が多い。◆本来のまちづくりは、行政や議会の問題であり、一般市民はそこまで口出しすることは無い！
 - 2) 委員会の今後の進む方向性・行政との協働では --- ◆魚沼市の将来像をまちづくり委員会が提案する等々理想が高く強い志を持っている。（詳細は別紙参照）
 - 3) 人（人間）は勝手な動物で、言うことは立派だがやることは？ 地に落ちた現象？
 - 4) 委員会としては、みんなが進めたい道で進めるしかない！ 楽しく和気あいあいのできるテーマを見つけて行くことに集約された。
- ④ 初参加であるが、魚沼市の進むべき道を模索して行くことが重要だと考える！ --- 桜井
- ⑤ 魚沼市の産業界（金属加工・食品加工・建設・温泉・商業・農業）を中心に各業界の、重要度vs満足度の棚卸をし、取組むべきが何かを探ってはどうか！ --- 三友
- ⑥ 次回までに、議事先行が短時間で済むように、叩き台をつくって見る！ --- 清水
- ⑦ 12月度は9日とし、忘年会を兼ねて実施！ 多くの参加者を期待する。

2-3. その他

- ① 今回から、新しいメンバーとして、桜井真一さんが加わりました。
みんなで新しい魚沼市の将来に向けて頑張りましょう！